

知っていますか？
日本は輸入の99.7%が海上輸送です！
海に携わる仕事人たちが生の声で現場を紹介



どうして 海のしごとは 大事なの？



「海のしごと」編集委員会 編
B5判・並製・148頁・定価本体2,000円(税別)



「どうして海のしごとは大事なの？」目次

序文 公益社団法人日本海難防止協会研究統括本部部長 大貫 伸

第1章 造るしごと

造船所 墨田川造船株式会社 製造部部長 島崎賢人 / 一般社団法人日本中小型造船工業会
船用工業 一般社団法人日本船用工業会

第2章 動かすしごと

船長 一般社団法人日本船長協会 元常務理事 森山和基
航海士 川崎汽船株式会社 一等航海士 齊藤 学
機関長(機関士) 一般社団法人日本船舶機関士協会 会長 井手祐之
水先人 日本水先人会連合会

第3章 運ぶしごと

外航船/内航船/フェリー 「海のしごと」編集委員会
特殊作業船 深田サルベージ建設株式会社

第4章 守るしごと

海上保安官 元海上保安庁 海上保安監 鈴木 洋
海上自衛官(艦長) 元海上自衛隊護衛艦艦長 山村洋行
船舶検査員 日本海事協会 人材開発センター 高橋 諭

第5章 調べる・探るしごと

海洋調査 海洋地球研究船「みらい」初代船長 赤嶺正治
海底地形調査 海上保安庁海洋情報部 企画課主任調査企画官 木村琢磨
海洋掘削・資源採取 日本大学理工学部 海洋建築工学科 居駒知樹 / 日本海洋掘削株式会社 末永健三

第6章 環境保全のしごと

海洋環境保全 一般社団法人JEAN 小島あずさ

第7章 「海の仕事」に就くための学校

海技大学校 / 海上技術短期大学校 / 海上技術学校 / 水産大学校 / 商船高等専門学校 / 工業高等学校・工業高等専門学校 / 水産・海洋高等学校 / 海上保安大学校 / 海上保安学校 / 防衛大学校 / 大学

調べる・探るしごと #01



海洋調査

Ocean Survey



海洋地球研究船「みらい」
書き手：初代船長
赤嶺正治

私たちの生命を守る地球環境をつくり、それを維持する重要な役割を担っている海洋。その役割を明らかにするために、観測船やさまざまな機材を用いて調査を行います。その最先端をいく、海洋地球研究船「みらい」の仕事を紹介します。

この度、(一社)横浜海洋福祉協会の赤嶺正治副会長が参画した「海の仕事」編集委員会による『どうして海のしごとは大事なの？』と題する本が成山堂書店から出版されました。四面環海の海洋国日本に住む私たちは、海が無い生活を想像することができません。この海での仕事とその必要性を多くの若い人たちに伝えて、海の仕事に夢と希望を持っていただくことを目的に出版されました。

赤嶺正治副会長は、海洋地球研究船「みらい」初代船長として十数年間海洋調査に従事した経験を通じ、若い人たちに海調査の魅力ややりがいを伝えています。最後に「海洋調査に技術力が高いほど、良い結果が得られ、またその結果は社会に大きく貢献することになります。海の中で何が起きているのかを調査することは、私たちが住みやすい地球にするために必要な仕事です。」と述べています。